

DX 企業講話 株式会社アルカディア 様



講師

株式会社アルカディア 代表取締役 春原 様

講話内容

- ・ DX の取組（メリット、企業における実例、課題等）
- ・ 会社説明（講師の経歴、経営理念、製品案内、曲げ加工の仕組み等）
- ・ 中小企業とは（定義、実態、大企業との違い） など

学生のワークシートから抜粋

【企業についてわかったこと等】

- ・ アルカディアという名前はギリシャ神話から来ている。
- ・ 経営理念「仕事を通して人格の向上、豊かな人生を育み社会に貢献する」
- ・ 精密板金加工、電気・制御機器、組立配線、設計などを行っている。
- ・ 板金加工は、レーザー加工、曲げ、溶接がある。
- ・ 大きな機械をたくさん使用するため、DX 化、CAD を使用して、制御を行っている。
また、作業量をまとめるためデータ化している。
- ・ 日本の全従業員の 7 割は中小企業で働いている。
- ・ 中小企業数は全企業の 99.7%である。

【感想】

- ・ ものづくりは、CAD をデータ化、AI で行うという感じになっていってしまうが、AI にまかせる、という感じではなく、AI と人がどのように協力してものづくりをしていくのが大切なのかなと感じた。
- ・ アルカディアの DX 化を知ってそれをふまえてほかの社会の DX を知りたくなったし、板金加工の AI を見てみたいと思った。

- ・それぞれの環境での課題に気付けるかが大切だということがわかりました。従業員が少なくてもいろんなものをつくっているのがすごいなと思いました。
- ・中小企業の数と、大企業の数とかを知れた。割合にびっくりした。
- ・製造や事務に AI をいくら取り入れても、結果的に使用する人が AI に適応していかなければ、上手く使いこなせず、意味がないんだと思いました。
- ・デジタル化によって速く正確に加工ができるようになったり管理が簡単にできるようになっていることがすごいと思いました。
- ・身の回りにある、音響機器や電車のホームドアなどがアルカディアで作られていることに驚きました。もっとアルカディアの製品を探してみたいと思いました。
- ・DX によって加工などの技術が楽になったりロスを低減したりなど進化を続けているなと思いました。
- ・自分も働いていくことになったら、仕事への変化についていけるように新しいことを学んでいきたい。
- ・精密板金加工でできている物は自分が思っていたより多く、溶接など、私たちが実習でやっている事をいくつか行い、色々な製品ができている事が分かった。